

土砂災害 ハザードマップ



土砂災害ハザードマップの目的、土砂災害の種類と前兆現象 1

土砂災害(特別)警戒区域、洪水予報等・避難情報の伝達方法 2

警報と注意報の発表基準、気象情報などはこちらから 3

避難所、避難勧告と避難指示、避難勧告・指示がでたときは… 4

雨の強さと降り方 5

避難時の心得 6

防災機関および医療機関、非常持ち出し品を用意しよう!、わが家の防災メモ 7

災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板、地区割図 8

土砂災害ハザードマップ 9~26



小 菅 村

土砂災害ハザードマップの目的

土砂災害ハザードマップは、梅雨期の集中豪雨や台風に伴う豪雨などにより、土石流やがけ崩れなどが発生した場合に被害を受けるおそれのある区域を土砂災害警戒区域等として示し、土砂災害が予想される場合や発生した場合に、住民のみなさんが避難などの適切な行動をとっていただくために作成したものです。

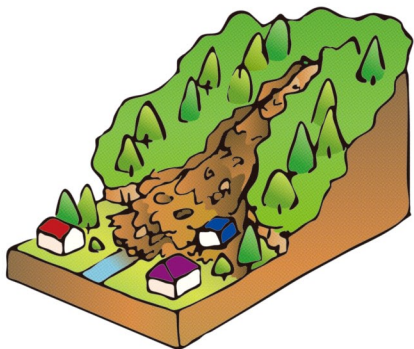
日ごろからご家族や地域の方と話し合っていていただき、土砂災害による被害の軽減にお役立ててください。

土砂災害の種類と前兆現象

こんな現象を見たら、早めに避難しましょう！

土石流の前兆現象

- ・急に川の流れが濁り流木が混ざっている。
- ・山鳴りがする。
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

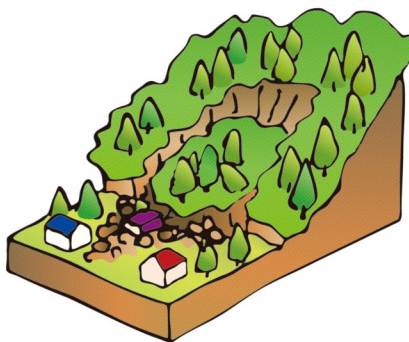


土石流とは……

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。

地すべりの前兆現象

- ・沢や井戸の水が濁る。
- ・地面にひび割れができる。
- ・斜面から水がふき出す。

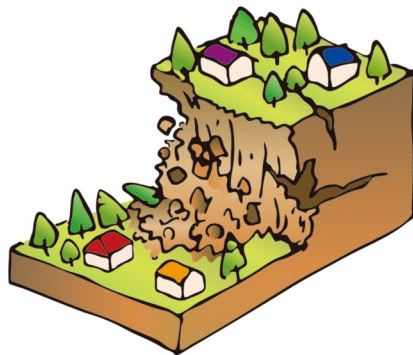


地すべりとは……

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。

がけ崩れの前兆現象

- ・がけに割れ目が見える。
- ・がけから水がわき出ている。
- ・がけから小石がばらばらと落ちてくる。



がけ崩れとは……

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象。

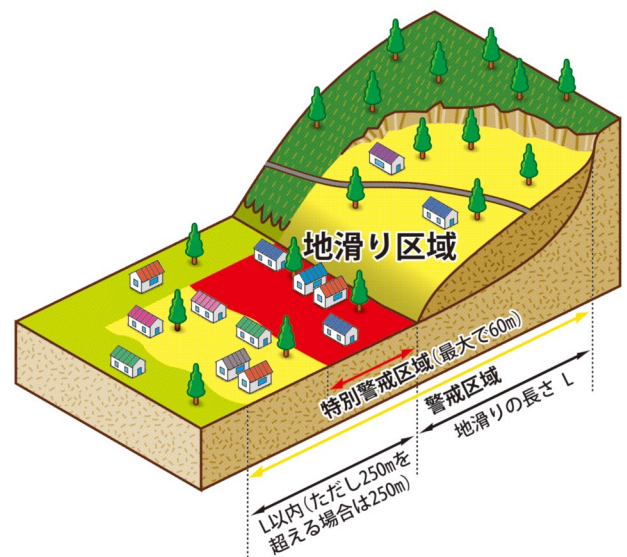
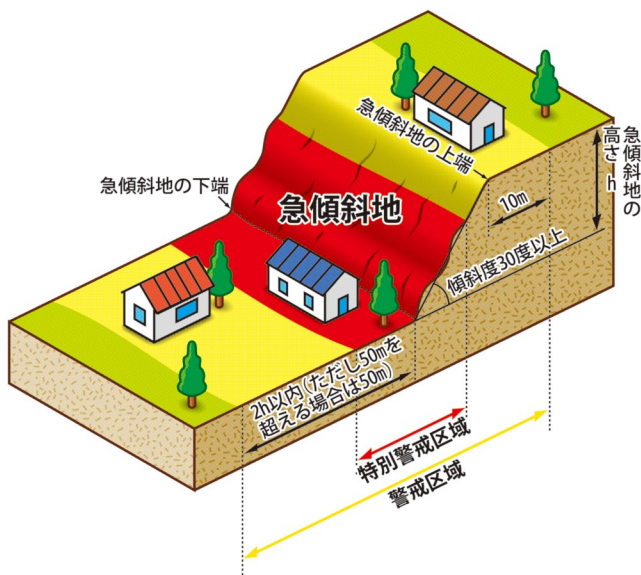
ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

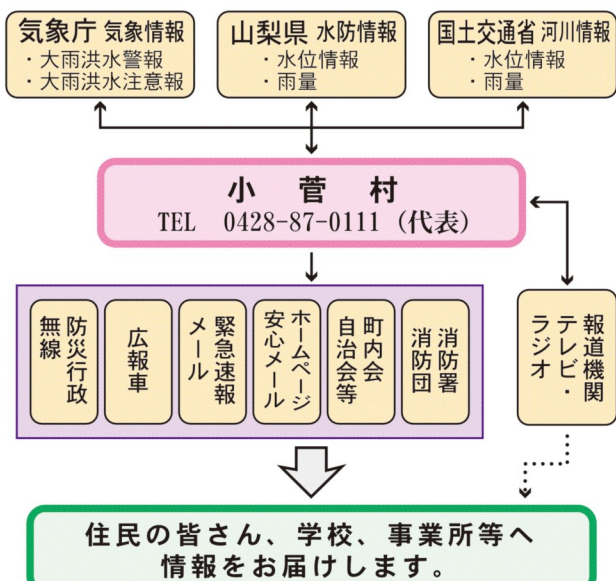
急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域（P8～P23の地図内に記載）。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

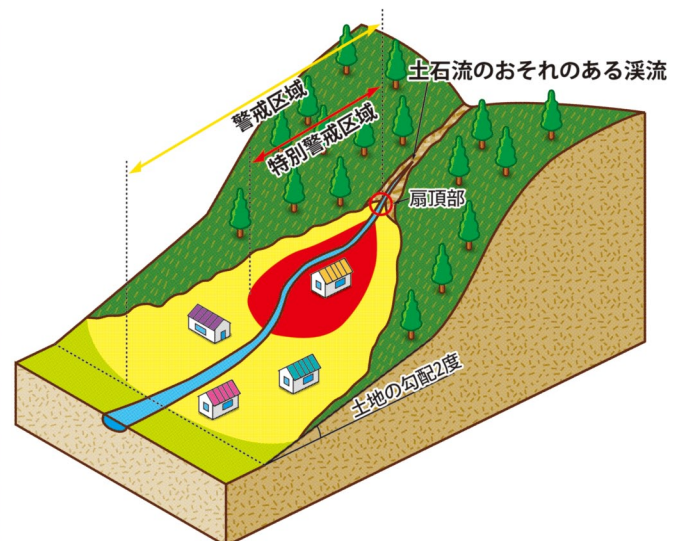
急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域（P8～P23の地図内に記載）。



洪水予報等・避難情報の伝達経路



※緊急速報メール等に関してはこれから導入していきます。



警報と注意報の発表基準

気象庁は、大雨や強風などの気象現象によって**災害が起こるおそれのあるときに「注意報」**を、**重大な災害が起こるおそれのあるときに「警報」**を発表して、注意や警戒を呼びかけます。

種類		予想される災害	発表基準	
			雨量	雨量指数
注意報	大雨注意報	浸水被害や土砂災害が発生するおそれのあるときなど	1 時間雨量 40mm 以上	土壌雨量指数基準 129以上
	洪水注意報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害のおそれのあるとき		流域雨量指数基準 小菅川流域 7以上
警報	大雨警報	重大な浸水被害や土砂災害が発生するおそれのあるときなど	1 時間雨量 60mm 以上	土壌雨量指数基準 166以上
	洪水警報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害のおそれのあるとき		流域雨量指数基準 小菅川流域 12以上

*小菅村は「山梨県東部」地域となります。

*土壌雨量指数とは、降った雨が土壌中に水分量としてどれだけ貯まっているかを気象庁が指数化したものです。

*流域雨量指数とは、河川の流域に降った雨水が、どれだけ下流の地域に影響を与えるかを気象庁が指数化したものです。

気象情報などはこちらから

日頃から気象情報や河川の水位情報に注意しましょう。テレビ、ラジオ、新聞やインターネットなどから様々な情報を入手しましょう。また、市民の皆さんから市へも情報提供をお願いします。

小菅村総務課	電話 0428-87-0111 ホームページ http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/
気象庁天気予報電話サービス	電話 177 最新の天気予報を聞くことができます。 ホームページ http://www.jma.go.jp/jma/
国土交通省防災情報提供センター	ホームページ http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/ 携帯電話から http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html 降水量や雨雲の動きなどを見ることができます。
国土交通省京浜河川事務所	多摩川の雨量・水位情報 電話 045-503-5515 ホームページ http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/ 携帯電話から http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/m/
国土交通省甲府河川国道事務所	ホームページ http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/ 防災情報、規制情報などを確認できます。
山梨県土砂災害警戒情報システム	ホームページ http://www3.pref.yamanashi.jp/dosya/ 携帯電話から http://www3.pref.yamanashi.jp/dosya-m/top/ 気象台と共同で発表する土砂災害警戒情報を補足する情報です。
東京電力	ホームページ http://thunder.tepco.co.jp/ 雨量・雷観測情報などを見ることができます。

避難所

必ずしも避難所に行くことが最善ではありません。防災無線やテレビなどをしっかり聞いて、状況に応じて避難するようにしましょう。

施設名	住所	電話(市外局番0428)
① きぼうの館	小菅村6027	87-0431
② 中央公民館	小菅村4581	87-0453
③ 小菅の湯	小菅村3445	87-0888
④ 小菅小学校白沢分校(多摩川源流大学)	小菅村1911	87-7055
⑤ 寺子屋自然塾	小菅村425	87-0055

避難勧告と避難指示

種 別	説 明
避難勧告 Evacuation advisory	拘束力はありませんが、住民の皆さんがその「勧告」を尊重することを期待して避難のための立退きを勧め、促す行為です。
避難指示 Evacuation directive	被害の危険が目前に切迫しているときに発せられます。「勧告」より拘束力が強く、住民の皆さんを避難のために立退かせるものです。

避難勧告・指示がでたときは…

- お互いに助け合って、避難場所へ安全な経路で速やかに避難を始めましょう。
- お年寄りや子ども、障がいのある方などは、早めの避難が必要です。近隣の方は、そのような方の避難にご協力を。
- 緊急車両の通行の妨げになるため、自動車での避難はやめましょう。
- 浸水している場所では、水路や側溝、マンホールに十分に注意しましょう。
- 逃げ遅れたときや避難場所まで行くことが困難な場合は、近くの建物の2階以上に逃げましょう。
- テレビ、ラジオ、防災無線、インターネットなどの気象情報、水防情報には十分注意しましょう。



雨の降り方で、だいたいの雨量をすることができます。

危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるように、降り方と雨量の関係を知っておきましょう。

やや強い雨

1時間に
10～20mmの雨

雨の音がよく聞こえ、地面一面に水溜まりができます。雨が長引く場合には、注意が必要です。



強い雨

1時間に
20～30mmの雨

どしゃ降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、またがけ崩れの心配もあります。



激しい雨

1時間に
30～50mmの雨

バケツをひっくり返したような雨。がけ崩れも起こりやすく、道路規制も行われます。避難の準備を。



非常に激しい雨

1時間に
50～80mmの雨

滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。水害の発生の可能性は大。



猛烈な雨

1時間に
80mm以上の雨

息苦しくなるような圧迫感を受ける雨。大規模な災害の発生するおそれ強く、嚴重な警戒が必要。



避難時の心得

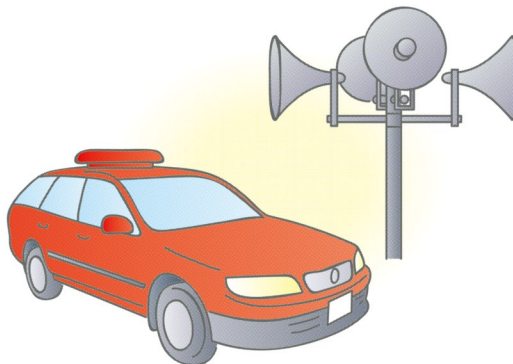
● 正確な情報収集と自主的避難を

テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の状況や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



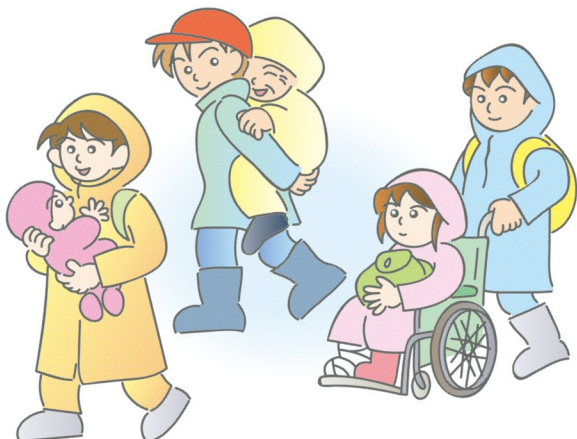
● 避難の呼びかけに注意

危険がせまったときには、市役所、警察署、消防署、消防団から、防災行政無線や広報車などにより、避難の呼びかけを行います。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。



● 災害時要援護者の避難にご協力を

高齢者・障がい者・病気やけがをしている方は早めの避難が必要です。隣近所の災害時要援護者の避難にご協力ください。



● 危険箇所を調べておこう

日頃からどこが危険か、避難場所はどこか、確認しておきましょう。外出する際には、がけ地に近づかないようにしましょう。



● 車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の妨げになります。また、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなりますので、特別の場合を除きやめましょう。



● 動きやすい格好、二人以上での避難

避難するときは、自主防災組織内で声をかけ合って避難しましょう。また、水面下では道路や側溝などの境目がわかりにくいため、杖などで安全を確認しながら歩きましょう。



防災関係機関および医療機関

施設名	住所	電話(市外局番0428)
小菅村役場	小菅村4698	87-0111
小菅村診療所	小菅村4631-1	87-0204(昼) 87-0111(夜)

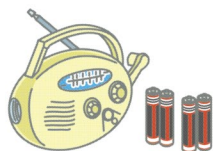
非常持出品を用意しよう！

いざという時にすばやく避難できるように、非常用品を防災袋に入れて常備しましょう。避難先で困らないように、眼鏡や持病の薬など、自分には必要で、入手が簡単ではないものを用意しておくことが大切です。特に寒冷期は防寒用品を忘れずに。

非常持出品 避難時にまず最初に持ち出すもの

□ラジオ

AM・FM両方聴けるものが便利。
ライト付きや発電式もあり。
予備の電池も用意する。



□救急薬品

絆創膏、包帯、傷薬、鎮痛剤、胃腸薬。
持病のある人は常備薬も忘れずに。



□非常食品

乾パンや缶詰など火を通さずに食べられるもの。
ミネラルウォーター、水筒、紙コップ、ナイフ、缶切りなども。



□貴重品

現金（公衆電話用10円硬貨があると便利）。
通帳、証書類、免許証、印鑑、
身分証明書など。



□懐中電灯

できれば一人に一個。
予備の電池も忘れずに。



□その他

下着、上着、レインコート、タオル、ライター、
ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、
カイロ、ラップ、軍手、生理用品、ヘルメットなど。



※非常食品の賞味期限や電池の液もれがないかなど、防災用品は定期的に点検しましょう。

わが家の防災メモ

わが家の避難場所	
緊急時の連絡先	
家族などの連絡先	
その他のメモ	

災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板

・NTT災害用伝言ダイヤル

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

メッセージの録音: 171→1→市外局番から電話番号→メッセージの録音

メッセージを聞く: 171→2→市外局番から電話番号→メッセージの再生

・NTT災害用ブロードバンド伝言板(web171)

災害発生時にインターネットで伝言情報の登録、閲覧ができます。

ホームページ <https://www.web171.jp/>

この他、携帯電話・PHS各社で災害用伝言板サービスもあります。

利用方法は、各社ホームページ等でご確認ください。



小菅村土砂災害ハザードマップ地区割図

